

令和5年度 第2回 村櫛小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月9日（木） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 村櫛小学校 3階 会議室
- 3 出席委員 徳増 幸雄、徳増 久子、徳増 善幸、藤田 善人、中村 陽介、小松 奈七
- 4 欠席委員 遠山 通夫、柴田 宜克
- 5 学 校 今田 徹（校長）、宮本 直子（教頭）、宮崎 友貴（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
  
- 8 会議録作成者 CSディレクター 宮崎 友貴

9 議長の選出

議長は前回会議（第1回）の経緯より、徳増善幸委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）令和6年度学校経営方針（案）について
- （2）学校支援コーディネーターの人選について

13 会議記録

司会の宮本直子教頭から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和6年度の学校経営方針（案）について

議長の指示により、今田徹校長から、別紙資料に基づき、令和6年度の学校経営方針について説明があった。委員から、以下の発言があった。

- ・ グランドデザインの4つの力（言葉）については、村櫛小の思いがあるのでこのままでよいのではないか（徳増幸雄委員）
- ・ 村櫛小の子供達は家族のように仲が良いが、反面集まりがちで「仲良しの裏返し」という面がある。ここにいながら外の世界と繋がるようにしたい（徳増久子委員）
- ・ 先生と子どもの距離が近いと感じた（徳増善幸委員）
- ・ 村櫛小は地域との繋がりがあると思った（小松奈七委員）
- ・ この会議をきっかけに地域との繋がりをより強め、PTAとしても協力していきたい（中村陽介委員）

## (2) 学校支援コーディネーターの人選について

議長の指示により、宮本直子教頭から、別紙資料に基づき、学校支援コーディネーターの人選について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 学校支援コーディネーターの仕事とはどのようなものか（徳増善幸委員）  
→先生や学校の要望をコーディネーターが聞き取り、地域の適任者を紹介するなど「学校と地域を繋げる」ことが仕事である（教育総務課）
- ・ 学校支援コーディネーターの仕事は幅が広く、1人で負担するのは大変だと思う。そこで1つの案として、村檜町自治会内に独立した担当部門を作り、ここで責任を持って受けることにしてはどうか（徳増幸雄委員）  
→コーディネーターは学校に1名設置するきまりだが、他校でも「学校サポーターズ」という団体から1名代表者を出している事例がある（教育総務課）  
→自治会には事務員がいる。学校が連絡の取りやすさとしてもよいと思う（徳増幸雄委員）

学校支援コーディネーターの人選は、徳増幸雄委員の案を自治会で協議していただくことになった。

### その他報告事項等

宮本直子教頭から、次回会議は、令和6年2月9日（金）午後1時20分から3階会議室で開催する旨の報告があった。

なお、協議内容については、「学校運営協議会の自己評価」であることが示された。

第3回議長の選出について、副会長から徳増善幸委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。